

11/17(水)～11/18(木)の行事

はじめよう、つづけよう。

「新北海道スタイル」



～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 新北海道スタイル

報道発表資料の配付日時 11月15日(月) 15時 00分

<p>発表項目 (行事名)</p>	<p>公益財団法人 日本博物館協会主催 「第69回全国博物館大会」の開催について</p>		
<p>記者レクチャー のお知らせ</p>	<p>(実施日時)</p>	<p>発表者</p>	
<p>概要</p>	<p>公益財団法人日本博物館協会主催による、「第69回全国博物館大会」が本道(札幌市)において開催されます。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 期間 令和3年(2021年)11月17日(水)～18日(木)</p> <p>2 会場 北海道立道民活動センター かでる2・7 (札幌市中央区北2条西7丁目)</p> <p>3 大会テーマ 博物館法制定70周年記念大会 「文化の多様性をつなぐ博物館」</p> <p>4 参集範囲 全国から博物館関係者約250名が参加(博物館関係では最大規模)</p> <p>5 主なプログラム (1) 11月17日(水) 13:30～17:00 ①開会式・表彰式(棚橋賞*1、博物館活動奨励賞*2、日本博物館協会賞) ②基調講演 講師:小林快次氏(北海道大学総合博物館教授) ③全国博物館フォーラム「今後の博物館制度の在り方～課題と展望～」 (2) 11月18日(木) 9:30～17:30 ①分科会(「博物館と文化の多様性」ほか2分科会を実施) ②シンポジウム(1～3分科会の総括) ③展示会プレゼンテーション ④閉会式</p> <p>6 主催等 公益財団法人日本博物館協会(共催:北海道博物館協会)</p> <p>7 後援 北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会</p> <p>【受賞について】 *1 棚橋賞: コロナ禍の下、北海道博物館が提唱し全国に拡がった「おうちミュージアム」をテーマとした本館学芸員 <u>渋谷美月の論文が受賞。</u></p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">本賞は、日本の博物館の黎明期に生涯を通じて博物館発展に尽力された棚橋源太郎氏(M2年～S36年)を偲び、その功績を末永く伝え博物館関係者の資質の向上と「博物館研究」の発展を図るため制定された賞。</p> <p>*2 博物館活動奨励賞: 受賞者3名のうち、コロナ禍で苦勞する地域の小規模公立博物館におけるコロナ資料の収集と活用をテーマとした浦幌町立博物館学芸員 <u>持田 誠氏の論文が受賞。</u></p>		
<p>参 考</p>	<p>※ 本大会では、道副知事 小玉俊宏が来賓挨拶(祝辞)を行う予定です。 なお、会場内の密接回避のためのソーシャル・ディスタンス確保や、参加者事前登録による入場制限など、感染防止策を講じます。</p>		
<p>報道(取材)に当たってのお願い</p>	<p>本大会の開催と合わせ、「棚橋賞」(全国で1名のみ)の当館職員の受賞や、浦幌町立博物館の意義ある活動の「奨励賞」受賞についても、ひろく周知いただきますよう、よろしくお願いたします。 ※ 当日の取材に当たっては事前に予約が必要となります。</p>		
<p>他のクラブとの関係</p>	<p>同時配付 (場所) 同時レク</p>		
<p>担当(連絡先)</p>	<p>北海道博物館 総務部企画グループ(担当:池田)【大会実行委員会事務局】 (連絡先:080-1861-3596) 日本博物館協会(担当:中谷)【取材事前予約先】 (連絡先:090-3095-2932)</p>		